

武蔵工業大学後援会誌

Mi-com

No. 20

1999-8



さわやかな晴天のもと、
輝きに満ちた若人のためのスポーツの祭典、体育祭。
“集中”の中にも明るい笑顔が。

後援会会長就任のご挨拶



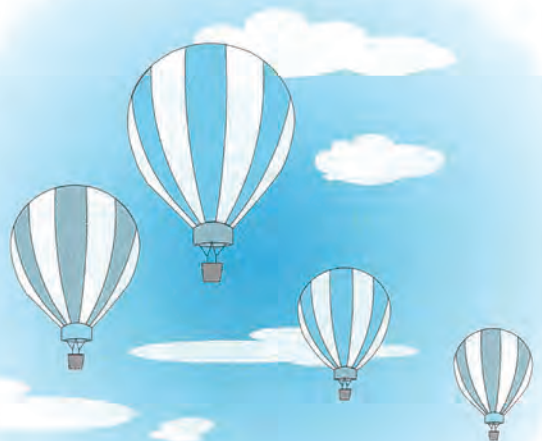
武蔵工業大学 後援会会長
五 艘 章

今年6月、微力を省みず後援会会長に就任致しました。関係各位の御支援を心からお願い申し上げます。ご承知の通り、武蔵工業大学は昭和4年「自由、自治、公正」を建学の精神として開校されて以来、今日までに、45,000有余名の卒業生が国内外の各分野に確固たる評価を確立しています。また時代の最先端に行く環境情報学部の新設、工学部の拡充、大学・世界初の国際環境管理システム規格ISO 14001の認証取得等、21世紀へ向けた挑戦的な学校運営が国内外から高い評価を得ております。

未曾有の平成大恐慌が続く中、昨年度の新大卒就職浪人が20万人と公称されています。この厳しい就職戦線に本学は就職率100%を確保し、その内容も他大学に比べて抜群の実績を誇示しています。これは卒業生の活躍と母校愛、熱意溢れる教授陣の指導により育まれた学生の実力が高く評価された賜物と言えます。企業は将来のリーダーを予感させる人材の資質として基礎学力、リーダーシップ、豊かな人間性等を重視しています。課外活動はこの資質を磨く為のリーダー訓練(リーダーだけでなく、リーダーに協力することも大切なリーダー訓練である)として、大きな意義があり、さらにクラブの加入により、同期生、上級生、下級生との裸の交流により、絶対の信頼と友

情に包まれた生涯最良の人脈が構築出来ることが素晴らしい。勿論、大先輩が就職試験に際して、大きな力に成ることは言うまでも有りません。課外活動は学生時代だけでなく、生涯を通して人生を豊かにしてくれる最高の学問であり必須科目であります。ちなみに小生の学んだ柔道部は昭和8年卒業の大先輩から現在迄330名でOB会を構成しており、毎年1月の鏡開きへの参加、技術情報の交換、子女の就職・結婚相談等、強い結束と交流を図り、柔道部後輩達への支援も行っています。

後援会は、体育会系、文化系、同好会を問わず、あらゆる課外活動を支援する為に貢献しています。御父兄の皆様も、最愛の御子弟が就職戦線を勝ち抜き、豊かな人生を築く為に、課外活動に参加出来る様、物心両面での支援をお願い致します。武蔵工大生諸君が全員、課外活動に参加され、大きく飛躍されることを心から信じています。



平成11年度 評議員会が開催される

武蔵工業大学後援会の平成11年度評議員会が平成11年5月29日(土)午後2時45分から世田谷キャンパス3号館312教室において役員、評議員99名(うち委任出席22名)の出席のもとに開催されました。

評議員会は黒崎浩会長の開会の挨拶で始まり、役員及び今年度新しく評議員に就任された23名の方々が紹介された後、議事に入りました。議事は事務局から第1号議案から各議案ごとに提案説明され、その後、この説明に基づいて審議され採決の結果、次の議案が原案の通り可決、承認されました。



▲受付風景



▲あいさつする堀川学長



▲議長の黒崎会長と海老原学生部長

武蔵工業大学後援会 平成11年度評議員会

平成11年5月29日(土)
世田谷キャンパス312教室
(五島記念館1階)

1. 開会の辞 —黒崎会長—

2. 報告事項

平成11年度後援会入会者数及び会員数について

3. 議事

第1号議案 平成10年度 事業報告について

第2号議案 平成10年度 決算報告について

第3号議案 平成11年度 事業計画(案)について

第4号議案 平成11年度 予算(案)について

第5号議案 平成11年度 役員候補者について

第6号議案 武蔵工業大学後援会緊急奨学金規定の変更について

第7号議案 武蔵工業大学後援会課外活動表彰規定(案)について

4. その他

5. 閉会の辞 —五艘副会長—



▲審議風景

【1】事業

1. 正課外教育援助

■主な課外活動への援助

●学生団体連合会への援助

平成10年度、学生団体連合会への課外活動の援助金として1,200万円を援助した。

●同好会連合及び学科研究会連合に課外活動援助金として141万円を援助した。

●「課外活動に対する補助制度」の一般援助は、68件(同好会及び個人含む)となった。

〈主な援助〉

- (1) 横浜祭実行委員会へ横浜祭運営費の一部を補助。
- (2) 鉄道研究部に対して駅部の制作の際、制作費の一部を補助。
- (3) 試合結果が優秀につき奨励補助としてラグビー部、ハンドボール部及び、アイスホッケー部等に対し援助。
- (4) コンテストの結果が優秀につき奨励補助としてラジオクラブ、及び機関会に対して援助。
- (5) ラグビー部、アイスホッケー部及びハンドボール部に対して、全国大会への出場経費の一部を援助。
- (6) 第18回全国空手道選手権大会(国際松濤館流)に優勝した空手道部の神山千寿さん(経営4年)に対し奨励補助として援助。

他

●学生行事に対する援助

- (1) 体育会主催の体育祭への援助。
- (2) 文化団体連合会主催のミュージックフェスティバルの運営費を援助。
- (3) 学生団体連合会主催によるMI-TECH祭の運営資金を援助。

他

●強化団体指定による援助

平成10年度の強化団体として指定したラグビー部、アメリカンフットボール部及びハンドボール部に対し、チーム強化のための資金を援助。

■学生顕彰

- (1) 大学の課外活動賞(学長賞、学生部長賞、課外活動奨励賞)のうち、課外活動奨励賞を授与し、副賞を贈呈。
- (2) 在学中、課外活動に貢献した学生を選考し、26名に

「後援会長賞」を授与・表彰した。

■学生の生活指導に対する援助

- (1) 全学生団体を対象に「救命講習会」の受講を義務付けさせ、その受講費用を援助。(1団体1名を義務付け、61名が参加)

- (2) 留学生研修会に対して援助

2. 「大学と父母との連絡会」への援助と協力

●全国28会場で開始された「大学と父母との連絡会」の費用の一部を負担。

●東京及び横浜会場においては黒崎会長が後援会を代表して挨拶。(平成10年9月) 地方会場においては、評議員の方々に会の運営等にご協力をいただいた。

3. 大学行事への協力

●平成10年度入学式に黒崎会長が来賓として出席し祝辞。(平成10年4月)

●学校法人五島育英会傘下の後援会合同後援会懇親会に黒崎会長、横山副会長、高橋・原田両会計監査が出席。(平成10年7月)

●平成10年度課外活動賞授賞式に黒崎会長が出席し、課外活動奨励賞を授与。(平成11年2月)

●平成10年度学位授与式に黒崎会長が来賓として出席し、「後援会長賞」の授与。(平成11年3月)

4. 学生厚生援助

●後援会10周年記念事業として、大学と協力して図書館前にオープン・カフェを設置。

●学生団体の統括本部へ、コンピューター用としてエアコンを購入し、寄贈。

5. 後援会緊急奨学金

●会員の家計急変により学業の継続が困難な学生に対して授業料相当額(全額又は半額)を貸与する緊急奨学金は、平成10年度は、2名に対し総額125万円を貸与。(平成10年7月)

6. 会誌の発行

●後援会の会誌「Mi-Com」18号(平成10年7月)、19号(平成11年1月)を刊行し、会員へ送付。

7. マイテック・フレッシュマン・キャンプに対する援助

●平成10年4月15・16日(1泊2日)に実施された新入生を対象とした研修行事に対して援助。

8. 入会案内等の送付

●平成10年度入学者のうち、未入会の父母宛に再度入会案内を送付。(平成10年5月)

- 平成11年1月末までの平成11年度入学手続完了者の父母宛に入会案内を送付。(平成11年2月)
 - 平成11年度入学手続の最終締切日までに手続完了の父母宛に入会案内を送付。(平成11年3月)
9. その他
- 評議員会終了後、創設10周年記念祝賀会を行った。
 - 学生(会員)等の死去に際し、香典・花環等を供えた。
 - 大学へ「後援会長賞」の候補者の推薦依頼。

[2] 運 営

1. 理事会

平成10年5月9日(土)

- 平成10年度評議員会提出案件の審議。

平成10年11月21日(土)

- 平成10年度の(1)事業経過、(2)入会者数について、(3)「大学と父母との連絡会」の結果などに関する審議。
- 平成10年度の主要会議日程、役員候補者選考、入会案内書送付等に関する審議。なお当日、理事会終了後、顧問の堀川清司学長のほか、大学関係者との懇談会が行われた。

2. 評議員会

平成10年5月23日(土)

- 平成9年度の事業報告、決算報告及び平成10年度の事業計画案、予算案、役員候補者についての審議。
- 後援会会則の変更についての審議。なお、当日は評議員会に先立って、新たにお問い合わせする評議員の方々の学内

見学を行い、また評議員会終了後には、創立10周年祝賀会を開催し、大学教職員と懇談会が行われた。

3. 会計監査

平成10年4月18日(土)

- 高橋、原田両会計監査により、平成9年度の会計監査を実施。

4. その他

- 後援会の事務担当者の採用

(アルバイト 平成10年4月～平成11年3月)

(専 任 平成10年11月～平成11年3月)

●平成11年度 後援会会員数

平成11年5月27日現在

組織		工 学 部								環境情報学部		
学年	機械	機械システム	電気電子	電子通信	電子情報	建築	土木	経営	エネルギー基礎	環境情報	合計	
1年生	109	73	62	92	76	98	104	79	51	155	899	
2年生	98	83	102	98	69	97	95	125	46	149	962	
3年生	104	96	96	98	64	121	89	97	44	174	983	
4年生	263	—	234	147	—	121	134	160	—	—	1,059	
合計	574	252	494	435	209	437	422	461	141	478	3,903	

組織	大 学 院							合計
学年	機械	生産機械	電気	建築	土木	経営	原子力	
修・博合計	57	46	152	69	39	34	12	409

●平成10年度「後援会長賞」受賞者

氏名	主な功績	進路先
小松 傑 (機 械)	体育会本部 会長	明治乳業(株)
若松 竜太 (機 械)	機親会 会長	武蔵工業大学大学院(機械修)
藤井 義之 (機 械)	剣道部 主将	カルソニック(株)
新庄 亮哉 (機 械)	天文同好会 会長	武蔵工業大学大学院(機械修)
石井 知之 (機 械)	文化団体連合会本部 本部長	リオン(株)
三宅 弘晃 (機 械)	学生団体連合会 副委員長	武蔵工業大学大学院(生産修)
鴨川 元彦 (機 械)	自動車部 部長	日清紡績(株)
高橋 優 (電子通信)	特別団体スケート部	武蔵工業大学大学院(原子修)
平野 聡 (電子通信)	吹奏楽団 団長	公務員志望
中村 智士 (電子通信)	ハンドボール部 主将	(株)図研
奥田 壮一 (電子通信)	陸上部 部長	東日本旅客鉄道(株)
堀河 宏明 (建 築)	弓道部 主将	(株)早野組
有光 孝仁 (建 築)	横浜祭実行委員会 委員長	積水ハウス(株)

氏名	主な功績	進路先
斎藤 直樹 (建 築)	空手道部 主将	三建設備工業(株)
蟻川 洋祐 (建 築)	バスケットボール部 主将	高砂熱学工業(株)
眞田 大輔 (建 築)	スノーボードサークル 副部長	自営業
高瀬 誠司 (土 木)	少林寺拳法部	武蔵工業大学大学院(土木修)
池成麻由美 (土 木)	バドミントン部	日立湘南電子(株)
山本 成昭 (土 木)	少林寺拳法部 主将	武蔵工業大学大学院(土木修)
青柳 哲也 (土 木)	ラグビー部 主将	小田急建設(株)
神山 千寿 (経 営)	空手道部 副主将	富士通キヤドテック(株)
宮地 義典 (経 営)	学生団体連合会 副委員長	日産自動車(株)
山本 博徳 (経 営)	水泳部 主将	日本ユニシス(株)
瑞慶覧 章朝 (電気工学)	学会等の受賞	富士電機(株)
小澤 健 (電気工学)	学会等の受賞	日本電気(株)
山上 智弘 (電気工学)	学会等の受賞	(株)豊田自動車繊維製作所

平成10年度 決算書

平成10年4月1日～平成11年3月31日

科 目	平成10年度予算	平成10年度決算	差 異	備 考
(収 入 の 部)	(円)	(円)	(円)	
1. 会 費	49,900,000	49,350,000	550,000	●新入生の加入者
2. 雑 収 入	600,000	2,043,675	△1,443,675	●利息収入、奨学金返済金
3. 前 年 度 繰 越 金	10,818,193	10,818,193	0	
収入の合計	61,318,193	62,211,868	△893,675	
(支 出 の 部)				
事 業 費	46,360,000	40,365,446	5,994,554	
4. 正 課 外 教 育 援 助 費	27,860,000	25,158,339	2,701,661	※下表の「正課外教育援助費内訳」を参照
5. 父 母 連 絡 会 費	3,400,000	3,067,854	332,146	●全国各地で年1回大学と共催
6. 大 学 行 事 協 力 費	2,000,000	1,154,000	846,000	●体育祭、MI-TECH祭(学園祭)等
7. 学 生 厚 生 援 助 費	5,000,000	4,970,353	29,647	●厚生設備等への援助(9号館・18号館等)
8. 奨 学 資 金 費	3,000,000	1,250,000	1,750,000	●緊急奨学金
9. 会 報 発 行 費	3,000,000	2,664,900	335,100	●後援会広報誌の作成(2回)
10. 新 入 生 研 修 行 事 費	2,100,000	2,100,000	0	●全学的に行うフレッシュマンキャンプに係わる援助
運 営 費	5,880,000	5,500,702	379,298	
11. 事 務 費	1,600,000	2,666,795	△1,066,795	●人件費、事務委託費、消耗品費
12. 会 議 費	1,500,000	1,264,838	235,162	●役員会、評議員会
13. 印 刷 ・ 通 信 費	800,000	470,810	329,190	●通知、案内の郵送、印刷代
14. 旅 費 ・ 交 通 費	1,200,000	944,300	255,700	●地方評議員、役員の旅費
15. 備 品 費	750,000	144,480	605,520	●後援会関係の備品、什器
16. 雑 費	30,000	9,479	20,521	●振込手数料等
予 備 費	1,500,000	25,000	1,475,000	
特 別 会 計	6,300,000	6,300,000	0	
17. 後 援 会 基 本 積 立	4,300,000	4,300,000	0	●将来の事業拡大のため
18. 記 念 事 業 費 積 立	2,000,000	2,000,000	0	●大学創立記念事業協力
19. 学 生 事 故 対 策 援 助 費 積 立	0	0	0	●学生事故対策として500万円まで積立完了
20. 特 別 課 外 活 動 援 助 費 積 立	0	0	0	●大規模な対外遠征援助500万円まで積立完了
小 計	60,040,000	52,191,148	7,848,852	
次 年 度 繰 越 金	1,278,193	10,020,720	△8,742,527	
支 出 の 合 計	61,318,193	62,211,868	—	

●正課外教育援助費内訳

科 目	平成10年度予算	平成10年度決算	差 異	備 考
正 課 外 教 育 援 助 費	27,860,000 ^(円)	25,158,339 ^(円)	2,701,661 ^(円)	●(ア)(イ)(ウ)(エ)は、「課外活動に対する補助制度」の費用。(オ)は強化指定団体制度により運用
課 外 活 動 援 助 費	26,460,000	23,732,872	2,727,128	
(ア)学 団 連 援 助 金	(12,000,000)	(12,000,000)	(0)	●学団連本部、体育会・文化団体連合会各部、MI-TECH祭実行委員会、吹奏楽団、放送会、新聞会
(イ)同 好 会 学 科 研 究 会 援 助 金	(810,000)	(1,410,000)	(△600,000)	●学団連準加盟の同好会及び学科研究会の連合各団体
(ウ)一 般 援 助 金	(10,000,000)	(8,132,040)	(1,867,960)	●課外研究、対外活動、情報活動、環境向上運動、用具整備、特別企画、地域活動
(エ)学 生 行 事 援 助 金	(2,750,000)	(1,290,832)	(1,459,168)	●水泳大会、ミュージックフェスティバル等
(オ)団 体 強 化 援 助 金	(900,000)	(900,000)	(0)	●強化指定団体
学 生 顕 彰 費	600,000	730,168	△130,168	●ボランティア表彰、課外活動奨励賞、後援会長賞等
学 生 生 活 指 導 費	800,000	695,299	104,701	●リーダー教育、救命法講習会受講料援助、学生の国際交流指導、ボランティア育成等

平成11年度 事業計画

【1】事業

1. 正課外教育援助

学生の課外活動の活性化をはかるため、学生団体及び学生行事等に対して援助を行う。

■課外活動援助

「課外活動に対する補助制度」による補助を行う。

- 学生団体連合会へ課外活動の援助金を支給。
- 学生団体連合会へ準加盟の同好会及び学科研究会の連合団体へ組織運営のための援助金を支給。
- *以下の2項目については、援助希望団体(個人)の申請に基づき、大学学生部の意見を受けて援助を行う。
- 「課外活動に対する補助制度」による一般補助
課外研究、対外活動、環境向上活動、情報活動、用具整備、特別企画、地域活動、活動奨励等のための援助。

●学生行事への援助

スプリング・フェスティバル、ミュージック・フェスティバル、水泳大会、公開企画、特別行事等に対する援助。

●強化団体指定による援助

関東リーグ相当クラスの上位リーグで活躍する団体に対して、チーム強化のための援助。(関東リーグ3部以上相当:関東ランキング24位前後以上を目安)

■学生顕彰

- 課外活動奨励賞として賞状及び副賞を与える。
- 学位授与式(卒業式)において、課外活動に貢献した学生約20名に「後援会長賞」を与える。

■学生生活指導

●学生の生活指導に対する援助。

(リーダーズ研修会、救命法講習会の受講、外国人留学生を含む国際交流活動などの費用と援助)

2. 「大学と父母との連絡会」の開催

- 大学と共催し、全国各地において「大学と父母との連絡会」を開催する。今年度は、本学会場(世田谷キャンパス・横浜キャンパス)を含め24会場で開催する。本学会場は、平成11年9月25日(土)を予定。

3. 「役員・評議員と大学教職員との懇談会」の開催

- 平成11年5月29日(土)の評議員会終了後の懇談会を大学教職員と後援会役員等の出席で開催された。

4. 大学行事への協力

- 大学及び学生が主催する大学行事、企画への援助協力。(体育祭、MI-TECH横浜祭、MI-TECH祭)

5. 学生厚生援助

- 学生の厚生施設・設備充実のための援助。(学生利用施設)

6. 緊急奨学金の貸与

- 会員の家計の急変により学業の継続が困難な学生に対し、授業料相当額(全額又は半額)を貸与。

7. 会報の発行

- 後援会の会報誌「Mi-Com」を年2回発行し、学内の動きを父母に連絡するとともに、誌面を通して会員相互の親睦をはかる。

8. 新入生研修行事(フレッシュマン・キャンプ)への援助

- 毎年4月に実施する新入生対象のフレッシュマン・キャンプへの援助。

【2】運営

1. 会議

理事会 2回 平成11年5月15日(土)

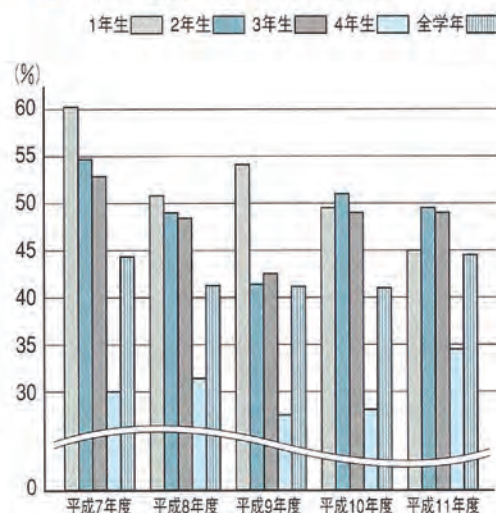
平成11年11月20日(土)予定

評議員会 1回 平成11年5月29日(土)

2. 後援会の業務を担当する事務担当者(専任及び、アルバイト)の採用

(期間 平成11年4月1日～平成12年3月31日)

■過去5年間の在学生クラブ加入率



平成11年度 予算

平成11年5月29日現在

科 目	平成11年度予算	備 考
(収 入 の 部)	(円)	
1. 会 費	46,300,000	●新入生の加入者
2. 奨 学 金 返 済 収 入	884,000	●奨学金返済金
3. 雑 収	400,000	●利息収入
4. 前 年 度 繰 越 金	10,020,720	
収 入 の 合 計	57,604,720	
(支 出 の 部)		
事 業 費	46,360,000	
5. 正 課 外 教 育 援 助 費	28,860,000	※下表の「正課外教育援助費内訳」を参照
6. 父 母 連 絡 会 費	3,400,000	●全国各地で年1回大学と共催
7. 大 学 行 事 協 力 費	3,000,000	●体育祭、MI-TECH横浜祭、MI-TECH祭(学園祭)等
8. 学 生 厚 生 援 助 費	3,000,000	●厚生設備等への援助(9号館・18号館等)
9. 奨 学 資 金 費	3,000,000	●緊急奨学金
10. 会 報 発 行 費	3,000,000	●後援会広報誌の作成(2回)
11. 新 入 生 研 修 行 事 費	2,100,000	●全学的に行うフレッシュマンキャンプに係わる援助
運 営 費	7,730,000	
12. 事 務 費	3,900,000	●人件費、事務委託費、消耗品費
13. 会 議 費	1,500,000	●理事会、評議員会
14. 印 刷 ・ 通 信 費	600,000	●通知、案内の郵送、印刷代
15. 旅 費 ・ 交 通 費	1,200,000	●地方評議員、役員の旅費
16. 備 品 費	500,000	●後援会関係の備品、什器
17. 雑 費	30,000	●振込手数料等
予 備 費	1,500,000	
特 別 会 計	2,000,000	
18. 後 援 会 基 本 積 立	0	
19. 記 念 事 業 費 積 立	1,000,000	●大学創立記念事業協力
20. 学 生 事 故 対 策 援 助 費 積 立	1,000,000	●学生事故対策として1,000万円まで積立完了
21. 特 別 課 外 活 動 援 助 費 積 立	0	●大規模な対外遠征援助500万円まで積立完了
小 計	57,590,000	
次 年 度 繰 越 金	14,720	
支 出 の 合 計	57,604,720	

●正課外教育援助費内訳

科 目	平成11年度予算	援 助 対 象
正 課 外 教 育 援 助 費	28,860,000 (円)	●(ア)(イ)(ウ)(エ)は「課外活動に対する補助制度」の費用。(オ)は強化指定団体制度により運用
課 外 活 動 援 助 費	27,360,000	●学団連本部、体育会・文化団体連合会各部、MI-TECH祭実行委員会、吹奏楽団、放送会、新聞会
(ア)学 団 連 援 助 金	(14,000,000)	●学団連準加盟の同好会及び学科研究会の連合各団体
(イ) 同 好 会・学 科 研 究 会 援 助 金	(1,260,000)	
(ウ)一 般 援 助 金	(9,200,000)	●課外研究、対外活動、情報活動、環境向上運動、用具整備、特別企画、地域活動
(エ)学 生 行 事 援 助 金	(2,000,000)	●スプリングフェスティバル、水泳大会、ミュージックフェスティバル等
(オ)団 体 強 化 援 助 金	(900,000)	●強化指定団体
学 生 顕 彰 費	700,000	●ボランティア表彰、課外活動奨励賞、後援会長賞等
学 生 生 活 指 導 費	800,000	●リーダー教育、救命法講習会受講料援助、学生の国際交流指導等

役員 (敬称略)

会 長	五 艘	章	土木工学(新)	理 事	山 田	亨	電子通信(再)
副 会 長	安 部	實	建 築(新)	理 事	小 林	昭 夫	電子情報(再)
副 会 長	中 山	安 男	環境情報(新)	理 事	木 村	憲 司	土 木(再)
理 事	平 柳	健 次	電気工学(再)	理 事	名 畑	博 之	経 営(再)
理 事	潮 口	正 克	電気工学(再)	理 事	北 村	義 次	エネルギー基礎(再)
理 事	谷 合	悟 隆	機 械(再)	理 事	豊 田	喜 夫	環境情報(再)
理 事	落 本	慶 男	電気電子(再)	理 事	藤 田	豊 比 古	電子通信(新)
理 事	橋 島	岩 彦	電子通信(再)	理 事	漆 原	道 生	建 築(新)
理 事	小 藤	克 彦	土 木(再)	理 事	堀 江	正 直	土 木(新)
理 事	後 藤	征 男	土 木(再)	理 事	原 澤	孝 夫	経 営(新)
理 事	黒 須	和 雄	経 営(再)	理 事	谷 口	育 生	エネルギー基礎(新)
理 事	横 山	誠 治	経 営(再)	会計監査	高 橋	佑 太 郎	電気工学(再)
理 事	鈴 木	秀 禎	機 械(再)	会計監査	原 田	晴 祥	建 築(再)
理 事	鎗 居	道 也	機 械(再)				
理 事	藤 井	ヨシノリ	機械システム(再)				
理 事	三 宅		電気電子(再)				

顧問 堀 川 清 司 学 長
顧問 中 添 淳 教 授

評議員 (敬称略)

山 下 浩 之	栃木県	電気工学(再)	豊 田 宣 臣	千葉県	電子通信(再)	太 田 秀 夫	茨城県	機 械(新)
伊 藤 穆	兵庫県	電気工学(再)	柳 澤 文 夫	長野県	電子通信(再)	久 保 木 伸 浩	千葉県	機 械(新)
梅 原 二 郎	京都府	機械工学(再)	大 津 優	東京都	電子情報(再)	齋 藤 文 彦	東京都	機械システム(新)
三 木 浩	徳島県	機械工学(再)	内 田 知 行	熊本県	電子情報(再)	濱 雅 生	三重県	機械システム(新)
谷 公 士	東京都	電気工学(再)	堀 田 正	新潟県	建 築(再)	豊 後 博 己	兵庫県	機械システム(新)
波 藤 雅 俊	東京都	電気電子(再)	北 本 正 義	広島県	土 木(再)	川 端 隆 司	東京都	電気電子(新)
野 中 千 城	山梨県	電子通信(再)	遠 山 智 一	埼玉県	土 木(再)	三 好 重 幸	広島県	電気電子(新)
小 林 武 弘	神奈川県	機 械(再)	三 宅 基 夫	神奈川県	経 営(再)	今 田 武 男	山口県	電子通信(新)
中 村 敏 雄	神奈川県	機 械(再)	大 内 康 行	神奈川県	環境情報(再)	小 田 淳 一	栃木県	電子通信(新)
花 村 嘉 彦	東京都	機 械(再)	岡 部 正 彦	東京都	環境情報(再)	石 原 昌 司	沖縄県	電子情報(新)
河 西 英 雄	神奈川県	電気電子(再)	村 田 統 治	東京都	機 械(再)	齊 藤 淳 三	千葉県	電子情報(新)
四 方 英 雄	千葉県	電気電子(再)	加 部 祥 司	神奈川県	機 械(再)	村 田 昌 彦	富山県	電子情報(新)
中 村 平 一 郎	神奈川県	電気電子(再)	宮 崎 和 明	神奈川県	機械システム(再)	栗 本 靖 彦	群馬県	建 築(新)
桜 井 武	神奈川県	電子通信(再)	森 岡 隆 行	茨城県	電気電子(再)	齋 藤 邦 宏	埼玉県	建 築(新)
森 元	富山県	電子通信(再)	森 下 圭 太	静岡県	電気電子(再)	石 黒 勝 利	北海道	土 木(新)
新 居 千 秋	東京都	建 築(再)	伊 藤 誠 一	東京都	電子通信(再)	中 原 勝 久	神奈川県	土 木(新)
三 高 正 明	静岡県	建 築(再)	江 本 豊 海	神奈川県	電子通信(再)	小 田 俊 理	東京都	経 営(新)
中 本 清	沖縄県	建 築(再)	斉 藤 俊 幸	神奈川県	電子情報(再)	宮 代 信 英	福島県	経 営(新)
前 田 房 夫	神奈川県	建 築(再)	木 本 敏	大分県	建 築(再)	吉 川 秀 二	神奈川県	エネルギー基礎(新)
高 波 謙 二	長野県	経 営(再)	塚 谷 清 博	石川県	土 木(再)	林 雅 彦	東京都	エネルギー基礎(新)
多 胡 護	岡山県	機 械(再)	打 本 幸 雄	石川県	経 営(再)	飯 尾 紀 直	神奈川県	環境情報(新)
大 石 隆 重	埼玉県	機械システム(再)	和 田 一 男	埼玉県	経 営(再)	相 馬 郁 夫	神奈川県	環境情報(新)
南山 外喜男	石川県	機械システム(再)	中 江 和 彦	東京都	環境情報(再)	古 岡 孝	東京都	環境情報(新)
一 柳 泰 義	香川県	電気電子(再)	濱 田 陽 敏	神奈川県	環境情報(再)			

平成10年度「課外活動に対する補助」による援助

後援会の事業の一つに「課外活動に対する補助制度」があります。これは学生が自主的な財源確保の努力をしつつも補助を受けることにより、特色ある活動や、より高レベルの活動が可能となり、キャンパスライフの充実に貢献することを期待して設けられているものです。

■統括団体への補助

- 平成10年度 学生団体連合会本部及び傘下団体への活動費援助金として12,000,000円を補助(学生代表者: 請地 淳)
- 平成10年度 同好会連合本部及び傘下団体への活動費援助金として300,000円を補助(学生代表者: 平井 卓也)
- 平成10年度 同好会連合17団体への活動費援助金として510,000円を補助(学生代表者: 平井 卓也)
- 平成10年度 学科研究会連合本部及び傘下団体への活動費援助金として600,000円を補助(学生代表者: 打矢 潤市)

■一般補助 第1回分

団体名	学生代表者	申請件名	申請理由	援助額(円)
体育会本部	嶋原 正俊	ナイトラリーの運営費用	今年度も一般公開企画として実施する	203,000
		水泳大会における横浜からのバス採用費用	左記イベントへの横浜キャンパス学生の移動手段としてバスを採用したい為	35,000
写真部	渡邊 修吾	学外写真展のギャラリー代	ギャラリー使用料・合同撮影会参加費用不足	25,000
		他大学との合同写真展開催費用	昨年度末に4大学合同で実施した展覧会の本学負担分の補助	8,000
ラジオクラブ	亀井 茂人	ハムフェア98への出展参加	22年目を迎える大イベントへの出展参加料	70,000
弓道部	久田 誠一	全関東学生弓道選手権大会での活躍	左記大会で土木3年八島が個人戦で決勝進出した為	10,000
少林寺拳法部	山本 茂昭	第34回少林寺拳法関東学生大会での活躍	左記大会で土木4年山本が男子単独演武の部で(43名中4位)を獲得	20,000
ハンドボール部	山野井 勉	関東学生ハンドボール(3部)春季リーグ戦での活躍	左記大会において優勝した為(6勝0敗1分)	100,000
		東日本インカレ出場	リーグ戦優勝で出場権獲得、出場経費補助	700,000
ラグビー部	青柳 哲也	関東理工系リーグ大会での活躍	左記大会で全勝優勝した為	100,000
アメリカンフットボール部	新井 智晴	第2回TECHトーナメント大会出場	左記大会に出場し優勝した為	100,000
陸上競技部	三高 雅太郎	日本学連総合保障制度の保険加入	今年度より関東学連登録の際には左記の保険加入が義務付けられた為	17,000
アイスホッケー部	丸山 透	関東大学アイスホッケー選手権大会出場(昨秋季)	左記大会(Dグループ)で準優勝した為	70,000
		関東大学アイスホッケー選手権大会出場(昨春季)	左記大会(Cグループ)で優勝した為	100,000
スキー部	大沢 剛	全日本学生選手権大会と関東理工系大会出場	左記大会の全日本で4年の鈴木が16位、理工系で1年の西村が最優秀新人賞獲得	40,000
ワンダーフォーゲル部	坂本 潤嗣	テントの購入	テントの破損及び部員増の為、新規購入	40,000
		ツェルト(非常用テント)購入	今年度よりツェルトを導入する事とした	10,000
ヨット部	中山竜太郎	傷害保険(年間)に加入	部員全員を保険に加入させた為	40,000
		小型ヨットの廃船処理	古いOBが放置した廃船を処理する為	70,000
機親会	千原 健史	98Word Econo Move参戦	左記大会で優秀な成績を残した為	70,000
天文研究会	中村 宗一	プラネタリウムの新規作成	性能向上を目指し新規に作成する為	100,000
スカイスーツ同好会	水島 仁	97全日本ハングライダー学生選手権大会出場	左記大会で好成績を残した為(66名中本学より3名エントリー、4位入賞者1名)	50,000
		98尾尾オープンカップ出場	左記大会で好成績を残した為(66名中、6位入賞者1名)	10,000
		スポーツ安全保険に加入	既加入の保険でカバーしてない保険加入	85,000
環境サークル“Green Days”	林田 全弘	全国環境青年連盟への加盟費	会員各自が直接、情報を得、効率的な活動ができるよう左記の連盟に加盟した為	46,000
合 計	17団体	25件		2,119,000

■一般補助 第2回分

団体名	学生代表者	申請件名	申請理由	援助額(円)
新聞会	小橋 真盛	編集作業用パソコン購入	パソコンの老朽化と紙面の向上	104,580
吹奏楽団	山口 雅史	MI-TECH Jazz Festival 98開催	Jazz Festivalへのプロバンドの招聘と他大学の楽器運搬費	150,000
鉄道研究部	竹 嶋 渉	Nゲージレイアウト駅部の制作	現在使用している駅部は制作以来5年だが旧レイアウトを使用した為各種の故障がおき新しく制作をしなければならない	100,000
		電車とバスの博物館におけるNゲージ大運動会(昨年12月・8月)	ポスターには武蔵工業大学鉄道研究部協賛と書かれるなど工大の知名度を高めるようにした	100,000
写真部	渡邊 修吾	学外写真展のギャラリー代	4大合同写真展ギャラリー使用料及び今回幹事校なので通信費の補助	20,000
ラジオクラブ	記虎 正幸	第10回ALL JALコンテストでの活躍	左記の大会で電信電話部門シングルオペレータ50MHzで優勝した	100,000

団 体 名	学生代表者	申 請 件 名	申 請 理 由	援助額(円)
空手道部	間 淵 紘 至	第18回全国空手道選手権大会の活躍	左記の大会で個人組手優勝及び3位となった。	60,000
		第46回東都六工大空手道選手権大会の活躍	左記の大会で個人組手優勝及び団体組手、型が3位となった。	40,000
弓道部	久 田 誠 一	創部35周年記念行事の開催	創部35周年記念パーティー及び記録冊子作成における補助	40,000
		第33回関東理工系大学弓道定期戦の運営	第33回関東理工系大学弓道定期戦の主管を務めることになり無事に運営する為	60,000
		関東理工系大学定期戦での活躍	左記の大会で準優勝をした	30,000
準硬式野球部	鈴木 大輔	新関東準硬式野球春季リーグ戦での活躍	左記の大会で2部優勝し、入替戦にて1部昇格を果たした	100,000
ヨット部	中山 竜太郎	ヨット試乗会の開催	ヨット試乗会の運営に掛かる費用の補助	50,000
		マスト破損における修理	夏合宿中ワイヤーの1本がデッキから抜けマストが倒れ、後の修理でマストの交換が必要となり、免責の一部の補助	150,000
バスケットボール部	三 好 新	大阪工業大学定期戦	今回の定期戦は第40回記念大会であり、また、本学会場の為、学生の負担もかきむ	30,000
スキー部	大 澤 剛	スキー保険加入	全日本学生スキー連盟加盟において傷害保険加入が義務付けられている為	50,000
アイスホッケー部	丸 山 透	練習のリンク代	リンク使用料が高額により、部員の負担も多い為、使用料の一部補助	400,000
アメリカンフットボール部	鈴木 秀和	秋季リーグ戦の出場	秋季リーグ戦に出場による遠征等の経費が多い為	150,000
スカイスポーツ同好会	水 島 仁	安全講習会	安全講習会を実施に関わる会場費及び資料作成の為	60,000
		NASA スチューデントカップでの活躍	左記の大会でファースト・クラス、セカンド・クラス、団体で準優勝した	70,000
Y.C.F.	清水 恒実	第2回横浜祭の企画運営	地域、両キャンパスの交流の一助となるように第2回横浜祭を成功させる為	1,500,000
環境サークル“Green Days”	林田 全弘	環境サークル交流合宿	キャンパスをさくろじー実行委員会の活動の一貫として行う。活動報告等の補助	20,000
野球同好会	伊集院 文隆	用具補充と大会参加	大会出場費とユニホームの購入で道具の補充及び大会参加費用の捻出が困難な為	30,000
留学生会	南 是赫	MI-TECH祭企画(国際)	各国の民族舞踊をする団体に掛かる経費を留学生会の資金では厳しい為	100,000
合 計	18団体	24件		3,514,580

■一般補助 第3回分

団 体 名	学生代表者	申 請 件 名	申 請 理 由	援助額(円)
新聞会	平井 泰嗣	ラグビー部の全国大会出場に対する取材	学内向け「Mitwork」にラグビー部全国大会出場の記事を記載する為、名古屋への取材費	50,000
吹奏楽団	冨田 泰子	留学生チャリティーコンサートに出演	留学生チャリティーコンサートに出演に際する人員の交通費及び楽器の運搬費	55,680
放送会	塩釜 亮平	X'マス・チャリティーコンサートにおける機材運搬費	横浜キャンパスにて行われる「X'マス・チャリティーコンサート」での放送活動に伴う機材の運搬費	19,530
鉄道研究部	松島 修一郎	機関誌「スチールカー学祭号」の製作及び発行	機関誌「スチールカー」を学祭にて無料で配布写真画質向上のため例年より経費がかさむ	50,000
バチェラーセブン	佐 藤 裕 生	スピーカー、パワーアンプの購入	現使用スピーカーの老朽化。他の学事にも貸出す為、音楽団体全体に機材購入は有意義	160,000
モーターサイクル部	濱谷 慎一郎	IRCカップでの活躍	10/18,11/29,12/5開催のIRCカップにおいてポイント獲得・上位入賞など好成績を収めた	65,000
ラグビー部	青 柳 哲 也	地区予選での活躍	地区予選にて全勝優勝した	100,000
		全国地区対抗ラグビーフットボール大会出場	全国大会に出場の為、交通費、宿泊費等の補助	621,000
アイスホッケー部	丸 山 透	第71回日本学生氷上選手権大会出場	左記の大会出場に際し宿泊費等の補助	780,000
		東京都理工系リーグ優勝	1998年度東京都理工系で、リーグ優勝した	100,000
バトミントン部	荻 輪 幸 紀	理工系大会の個人戦シングルス	左記の大会で個人戦シングルス優勝となった	50,000
スキー部	大 澤 剛	連盟加盟費	活動の為、全日本学生スキー連盟、関東理工系大学スキー連盟に加盟。その加盟費の補助	80,000
合気道部	伊 藤 友 彦	第38回全国学生合気道演武大会での活躍	左記の大会で連盟賞を与えられた	70,000
少林寺拳法部	奥 山 雄 輝	第48回世田谷区体育祭少林寺拳法大会での活躍	左記の大会で最優秀賞、優秀賞、敢闘賞を受賞	30,000
特別団体 (スピードスケート部)	高 橋 優	第71回インカレ出場・第31回関東インカレ出場	両大会の参加費・遠征費の補助	50,000
		ショートトラックインカレ(7位)出場	第21回日本学生ショートトラックスケート選手権大会にて3000M7位、学校対抗16位となった	30,000
ゼフィルススキークラブ	石田 喜弘	スキー保険加入	SIG連盟に所属しスキー保険加入が必要	28,000
シーランクス	横 山 知 里	南伊豆マングローブ林の調査・保全活動	南伊豆マングローブ林の全滅の危機に際し、苗木の育成・林の清掃・調査活動を行った	17,500
Mix's	猿 田 友	横浜キャンパスでの音楽団体4団体の共用機材購入	発足間もない4音楽団体が学内の各イベントに参加協力する為の機材購入の補助	141,750
合 計	16団体	19件		2,498,460

平成11年度「大学と父母との連絡会」のお知らせ

——全国24ヶ所で開催——

後援会と大学の共催により平成11年度「大学と父母との連絡会」を下記の24会場で開催します。大学側から教職員の方が出席され、教育方針や現況等について説明していただくと共に、在学する子女の修学および学生生活上の諸問題について懇談することを目的としております。奮ってご出席ください。

■平成11年度「大学と父母との連絡会日程および会場」

開催地	開催日	時 間	会場と所在地（電話番号）
札幌	9月 5日(日)	開催 10:00～12:00	ホテル330グランデ札幌 北海道札幌市中央区南9条西4-4-10 (011-561-0330)
仙台	9月 4日(土)	開催 9:30～12:00	ホテルサンルート仙台(青葉の間) 宮城県仙台市青葉区中央4-10-8 (022-262-2323)
郡山	9月 5日(日)	開催 9:30～12:00	ホテルハマツ(水星の間) 福島県郡山市虎丸町3-18 (024-935-1111)
水戸	9月11日(土)	開催 10:00～12:00	三の丸ホテル(2階「かわせみの間」) 茨城県水戸市三の丸2-1-1 (029-221-3011)
宇都宮	9月12日(日)	開催 10:00～12:00	チサンホテル宇都宮(2階「ふじの間」) 栃木県宇都宮市駅前通3-2-3 (028-634-4311)
東京	9月25日(土)	学内見学希望 10:15 見学未希望 12:00	武蔵工業大学 工学部 東京都世田谷区玉堤1-28-1 (03-3703-3111)
横浜	9月25日(土)	開催 10:30～14:00	武蔵工業大学 環境情報学部 横浜市中区保土ヶ谷3-3-1 (045-910-2500)
高崎	9月 5日(日)	開催 10:00～12:00	ホテルメトロポリタン高崎 群馬県高崎市八島町222 (027-325-3311)
新潟	9月 4日(土)	開催 10:00～12:00	ホテルイタリア軒 新潟県新潟市西堀通7-1574 (025-224-5111)
甲府	9月12日(日)	開催 10:00～12:00	古名屋ホテル 山梨県甲府市中央1-7-15 (055-235-1122)
松本	9月11日(土)	開催 10:00～12:00	松本グリーンホテル 長野県松本市深志1-5-14 (0263-35-1277)
静岡	8月29日(日)	開催 10:00～12:00	ホテルセンチュリー静岡(5階「センチュールーム」) 静岡県静岡市南町18-1 (054-284-0111)
浜松	8月28日(土)	開催 13:00～15:00	オークラアクティビティホテル浜松(3階「メイフェア」) 静岡県浜松市板屋町111-2 (053-459-0111)
富山	9月 4日(土)	開催 10:00～12:00	第一イン富山(11階「立山・剣」) 富山県富山市桜町1-1-1 (0764-42-6611)
金沢	9月 5日(日)	開催 10:00～12:00	金沢東急ホテル (5階「兼六の間」) 石川県金沢市香林坊2-1-1 (076-231-2411)
名古屋	9月 5日(日)	開催 9:30～12:30	名古屋丸の内東急イン(2階「会議室」) 愛知県名古屋市中区丸の内2-17-18 (052-202-0109)
大阪	9月 4日(土)	開催 14:00～16:00	大阪第一ホテル(29階「ルビー・サファイア」) 大阪府大阪市北区梅田1-9-20 (06-6346-0007)
高松	9月 5日(日)	開催 10:00～12:00	グリーンホテル川照 香川県高松市西内町1-6 (0878-51-7700)
高知	9月 4日(土)	開催 10:00～12:00	高知ホテル(3階「306」) 高知県高知市駅前町4-10 (0888-22-8008)
岡山	8月29日(日)	開催 9:45～12:00	ホテルグランヴィア岡山 岡山県岡山市駅元町1-5 (086-234-7000)
広島	8月28日(土)	開催 9:45～12:00	広島ワシントンホテルプラザ 広島県広島市中区田中町6-10 (082-240-7111)
福岡	8月29日(日)	開催 9:30～12:00	ホテルステーションプラザ(9階「雪の間」) 福岡県福岡市博多区博多駅前2-1 (092-431-1211)
宮崎	8月28日(土)	開催 9:30～12:00	宮崎観光ホテル(東館2階「大虹」) 宮崎県宮崎市松山1-1-1 (0985-27-1212)
那覇	7月18日(日)	開催 10:00～12:00	西武オリオンホテル(2階「旺の間」) 沖縄県那覇市安里1-2-21 (098-866-5533)